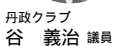


長生園

市役所（本庁）庁舎

美山中学校ランチルーム

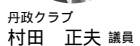
区画整理予定のJR吉富駅周辺



丹政クラブ 谷 義治 議員

老人をめぐる諸問題について、市長の認識と所見は

高齢者福祉を推進して、生きがいづくりに努力する **市長**



丹政クラブ 村田 正夫 議員

新庁舎建築で市民サービスの向上を

早急に考えなければならない課題 **市長**

問 老人をめぐる諸問題について、市長の認識と所見について伺う。
答 後期高齢者医療保険制度は改善が必要と思うが、高齢者世帯に生活困窮者が増加していない。介護は家庭・家族介護から施設介護に、制度の考えとは逆の方向に行っていない。また、施設についても入所できる

問 今の庁舎は、コンクリートでなく係が分りにくく、市民に不便を与えている。各教室に分かれているため、機構改革を行う際、部や課の拡大縮小がやりにくい状況である。
答 支所との連携、行政改革の推進には新庁舎の建築を英断し、市民サービスの向上を図るとともに、職員の手配も、行政改革の推進と、総合振興計画を着実に具体

化していくことが市の喫緊の課題である。早急に庁舎建築基金を創設し、合併特例債の検討を図るべきではないか。また、駐車場問題、周辺整備も検討すべきである。
市長 市民サービスの向上、効率的な行政運営を図る点で現庁舎に課題があることを認識している。駐車場を含めた周辺整備と本庁の問題は、効果的に効率的な行政運営と市民サービスの向上を図

は起きている。こういった問題をトータル的にとらえ対応することが必要と考える。
市長 後期高齢者医療保険制度は、国において改善して制度の維持を図る方向であり、市民に理解いただける方向を考

えなければならぬ。生活保護の受給者の約1割は高齢者であり、無年金者が多い。核家族化、老々介護など、困難な状況が出ており、施設は早く設置し

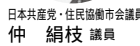
る上で、早急に考えていかなければならぬ。合併特例債の活用も、平成27年までという観点もある。庁舎建築基金も大きな課題にならなくてはならない。
市長 今後の内部的に十分な検討を続ける中で、市民の理解を得られる内容で調整したい。

たが、待つて頂く状況にならなければならない。
市長 19年度に相談件数は12件あった。虐待防止のため、ネットワーク会議を立ち上げ各種団体、機関とも連携し防止に努める。いずれにしても福祉介護、医療など二体と見て、高齢者福祉の推進に努めるべきである。また、生きがいづくりに努力する決意である。
市長 財政運営は、市長の最重要な仕事であり大きな責務がある。そこで住民に対して、地域に入

る。管理日役もやれず、地域力低下が心配される。
市長 先ずは実態把握、管理や相続のやりやすい持続可能な「組織」の研究が必要。更には、森林組合との連携、水源税への取り組みも必要である。
市長 組織の新たなシステムへの制度改革を検討する必要がある。
市長 私ができる限り早い時期に住民の方に説明させて頂く。財源の確保と切り分け自主財源を確保するための知恵を絞りたい。

子育て、福祉施策の新たな見直しは

新たな形での提案を検討 **市長**

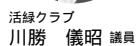


日本共産党・住民協働市議員団 仲 綱枝 議員

問 3月議会で否決された子育て支援施策と福祉医療費の見直しをされると思うが、南丹市総合振興計画の観点から、どのような見直しをするのが市長の所見を伺う。
答 合わせて子育て支援策としても中学校給食を実施する時期にきていると思うが、教育長の見解を伺う。また、学校給食運営委員会の開催状況と、その内容を伺う。
市長 否決された条例案

実情をふまえた人権教育・啓発が必要

関係団体との連携を深め推進する **市長**



活緑クラブ 川勝 儀昭 議員

問 差別落書きが南丹市内や亀岡市内において数件発生した。八木町では、三俣川農業水利権問題を部落差別の実態として捉え、行政課題としての位置付けのもと様々な事業に取り組んできた。昭和39年、北屋賀地区より水利権差別的撤廃と水源の確保を要旨とした請願書が八木町議会に提出され、以降行政の責務として取り組まれてきた。ほ場整備事業等の八ノド事業は一定完了

したが、真の部落差別の解消になるものではない。八木、吉富駅構内においても差別落書きが発生している。「灯台もと暗し」とならないよう、事実をふまえた人権研修が必要と考える。人権教育について市長の所見を伺う。
市長 差別的な落書きは、市として重要な課題であり大変遺憾に思う。共通認識を深めて頂くため啓発チラシを全戸配布した。人権教育・啓発推進協議会や関係団体と

については新たな形で提案できるよ。内容を精査し、現在検討している。
教育長 学校教育で、食育の重要性は承知しているが、弁当が親子の絆を保つ一手段となっていて、運営委員会は、必要に応じて年に数回開催しているが、現状の給食を検討している。
市長 昨年10月から、園部八木線のバスを走らせている。通院、買物、サークル活動の参加等、住民にとっては重要な移動

の連携を深め人権研修の輪を広げ活用していきたい。
市長 吉富駅西側区画整理事業について伺う。地元住民の熟慮と英断により、組合組織を立ち上げられ、まちづくりの推進に取り組まれている。減歩率が非常に高く、一層の行政支援が必要である。行政の付け替え事業、企業誘致等による保留地処分、駅前広場の整備、吉富駅自由通路、上下水道整備

手段となっており、存続を求めたい。住民の移動する権利としての「交通権」を保障するべきと考えるが、市長の見解を伺う。
市長 また、ガソリン代も高騰し、環境問題の観点からも、全市民的な公共交通を、早急に充実させるべきと考えるが、所見を伺う。
市長 限られた財源の中で、有効かつ効率的な運用をしなければならぬ。廃止が存続かは利用

等々の行政支援が必要と考えるが、前向きな関連支援について市長の所見を伺う。
市長 竹井室河原線は京都府において国道とJR線をまたぐ立体交差計画が示された。市の支援は、都市再生整備計画の策定中であり府との協議を進め確定していく。京都府町村企業誘致連絡協議会と連携をはかり企業誘致等を考えていきたい。

状況、市民サービスを精査し公共交通会議の中で協議してもらう。
市長 「振興計画」の中で八木駅西、吉富駅西の土地区画整理事業は、市の人口増加の上で重要な事業と位置づけている。関係者より行政支援を求めたい声があるが、市長の見解を伺う。
市長 本事業は、これからのまちづくりにおいて大変重要であり、地権者と十分協議して推進していく。